

県営鳴海住宅始め
3 住宅実施方針等検討業務

調 査 報 告 書

平成 3 0 年 3 月

一般財団法人 東海技術センター

1. 調査件名

県営鳴海住宅始め3住宅実施方針等検討業務

2. 調査目的

調査対象建築物において、アスベスト（石綿）含有建材の有無を調査することを目的とした。

3. 調査場所及び対象棟

①県営鳴海住宅（愛知県名古屋市緑区浦里4丁目地内）

0街区の1号棟から4号棟、集会所、受水槽、物置及び自転車置場

4. 調査日

①平成30年2月15日（木）

②平成30年2月16日（金）

5. 調査機関等

<調査機関：一般財団法人 東海技術センター>

代表者：理事長 平井 修司

所在地：名古屋市名東区猪子石二丁目710番地

<アスベスト調査担当者：岡崎 正憲>

建築物石綿含有建材調査者、アスベスト診断士、石綿作業主任者

<アスベスト分析担当者：石川 輝之>

Aランク認定分析技術者※、第一種作業環境測定士

※(公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業(旧称：石綿分析に係るクロスチェック事業)による技術認定

6. 調査方法

①現地調査（目視確認及び試料採取）

現地にて調査対象建物を目視確認の上、分析に供する試料の選定を行い、その採取をJIS及びマニュアル※に基づき実施した。

採取者は呼吸用保護具等を着用の上、採取前に採取箇所を湿潤化し、工具等を用いて試料の採取を行った。採取後、採取痕に飛散防止処理剤を噴霧し、飛散防止処置を行った。採取した試料は密封できる容器（チャック付ビニール袋）に収納し二重梱包の上、分析室へ搬入し分析に供した。

※「JIS A 1481-1」、「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル[2.10版]（平成29年3月 厚生労働省）」

②分析

採取した試料の分析は、「JIS A 1481-1（建材製品中のアスベスト含有率測定方法―第1部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法）」に基づき、アスベスト全6種類（クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト）の定性分析を行いアスベストの有無を判定した。

7. 調査結果

試料採取位置を図1、分析結果を表1、表2及び分析結果報告書に示す。また調査写真帳を巻末に示す。

表1に示すとおり、今回調査した30試料（鳴海：14試料、XXXXXXXXXX）のうち1試料（鳴海：1試料）よりアスベストが確認された。

また表3及び表4に示す建材については、採取が困難またはアスベストの含有がほぼ確実であると判断できることから採取・分析は行わず「アスベスト含有みなし」とした。